

平成28年度

第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時 : 平成28年9月15日(木)
15:00~17:00

場 所 : 関東森林管理局
東京事務所 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 木材の需給動向について

- ① 木材の需給、価格等の動向
- ② 関東局における国有林材の供給状況

(2) 国有林材供給調整の必要性について(審議)

3. 閉 会

関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名
財団法人 林業経済研究所 研究員	荒谷 明日兒
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一
栃木県森林組合連合会 参事	枝 任郎
福島県郡山地区木材製材協同組合 福島県中央木材市場 専務理事	遠藤 和憲
静岡県森林組合連合会 常務理事	大畑 仲典
栃木県 県西環境森林事務所 林業経営第一課長	川上 晴代
協和木材株式会社 代表取締役	佐川 廣興
有限会社佐川運送 代表取締役社長	佐川 文教
群馬県森林組合連合会 木材部長	鈴木 克志

平成28年度 第2回関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

1. 開催日時・場所

平成28年9月15日（木）15:00～17:00

関東森林管理局 東京事務所会議室

2. 検討結果

需給動向や各委員からの状況報告等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する必要はない。

3. 主な意見

(1) 需給動向について

○栃木県ではこれまで製材品価格が保合で推移していたが、原木の供給が増えないため製材品価格が上昇している。しかしこれから伐採シーズンに入るので、需要に応えられる供給態勢が取られるものと考えている。

○合板用カラマツ材、バイオマス燃料材について不足の懸念がある。

○住宅着工戸数は増加傾向にあり、建築向け木材需要も堅調である。ただ、この需要増は大手ハウスメーカーに偏っており、国産材を多く用いる地方の中小工務店までは仕事が回っていない。中小工務店の受注が増加に向かえば、国産材需要増に結び付くので今後が注目される。

(2) 各委員からの状況報告等について

○公共建築物の木質化を始めとした政策により木材需要は創出されているが、供給側がそれに対応できるか不安がある。他社と協働して、木材業界全体で信頼に応えられるよう頑張っていきたい。

○木材の使用により森林が守られることが伝わっていない。特に若者への、森林の公益的機能に関する啓発が必要と感じる。

○ヒノキの需要開拓について土台材が考えられるが、現状主に使われているベイツガをヒノキに転換する必要がある。そのためには市場頼みではなく、自社による営業努力が必要。